

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

監督員上司

考査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	II. 工程管理	工程管理が優れている	工程管理が良好である	他の事項に該当しない	工程管理がやや不備である	工程管理が不備である
		<input type="checkbox"/> 現場又は施工条件の変更等による工期的な制約がある中で、余裕をもって工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 隣接する又は同一現場の他工事との積極的な工程調整を行い、トラブルを回避した。 <input type="checkbox"/> 近隣住民(入居者等を含む)との調整を積極的に行い、トラブルも少なく、工期内に工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 配置技術者(現場代理人等)の積極的な工程管理を行った。 <input type="checkbox"/> 代休等を確保するなど、適切な人員管理と工程管理を行った。 <input type="checkbox"/> その他 理由(_____)			<input type="checkbox"/> 工程管理がやや不備である。	<input type="checkbox"/> 工程管理が不備である。
		該当項目数5以上 …………… a	該当項目数1以上5未満 …… b	該当項目なし …… c		
	III. 安全対策	安全対策が優れている	安全対策が良好である	他の事項に該当しない	安全対策がやや不備である	安全対策が不備である
		<input type="checkbox"/> 建設労働災害、公衆災害の防止への努力が顕著である。 <input type="checkbox"/> 安全衛生管理体制を確立し組織的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 安全衛生管理活動が適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に関する技術開発や創意工夫に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 安全協議会活動に積極的に取り組むなど、リーダーシップを発揮している。 <input type="checkbox"/> 安全職場実現への取り組みが顕著である。 <input type="checkbox"/> その他 理由(_____)			<input type="checkbox"/> 安全管理がやや不備である。	<input type="checkbox"/> 安全対策が不備である。
		該当項目数5以上 …………… a	該当項目数1以上5未満 …… b	該当項目なし …… c		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

監督員上司

考査項目	細目	a	a'	b	b'	c
6. 社会性等	I. 地域への貢献等	地域への貢献が優れている	地域への貢献がやや優れている	地域への貢献が良好である	地域への貢献がやや良好である	他の事項に該当しない場合
		<input type="checkbox"/> 災害時等に地域への救援活動等に協力した。 <input type="checkbox"/> 周辺地域等の環境保全、生物保護等について具体的な対策をした。 <input type="checkbox"/> 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせる等、積極的に周辺地域との調和を図った。 <input type="checkbox"/> 広報活動や現場見学会等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。 <input type="checkbox"/> 地域イベントへの協力やボランティア活動等への協力や参加をした。 <input type="checkbox"/> 地域生活に密着したゴミ拾い、道路清掃等のボランティア活動等へ積極的に参加し、地域に貢献した。 <input type="checkbox"/> その他 理由(_____)				
		該当項目数6以上 a 該当項目数5以上6未満 a' 該当項目数3以上5未満 b 該当項目数1以上3未満 b' 該当項目なし c				

※地域への貢献とは、工事施工にともなって、地域社会や住民に対する配慮等の貢献について、加点評価する。

工事成績採点の審査項目別運用表(土木工事)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

監督員上司

審査項目	法令遵守等の該当項目一覧表																										
7. 法令遵守等	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;">措置内容</th> <th style="width: 20%;">点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> 1. 項目該当なし</td> <td style="text-align: center;">-0点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 2. 指名停止3ヶ月以上</td> <td style="text-align: center;">-20点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 3. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満</td> <td style="text-align: center;">-15点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 4. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満</td> <td style="text-align: center;">-13点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 5. 指名停止2週間以上1ヶ月未満</td> <td style="text-align: center;">-10点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 6. 文書注意</td> <td style="text-align: center;">- 8点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 7. 口頭注意</td> <td style="text-align: center;">- 5点</td> </tr> <tr> <td>8. 現場内で、労働災害が発生した場合</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 労働災害の事案が複数回発生しており、労働基準監督署から複数回「是正勧告書」や「指導票」が交付された場合</td> <td style="text-align: center;">- 8点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 労働基準監督署から、「是正勧告書」が交付された場合</td> <td style="text-align: center;">- 5点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 労働災害が軽微であるため口頭注意以上の処分が無かった場合、休業4日以上の労働災害が発生した場合、休業4日未満であっても、労働基準監督署から、「指導票」が交付された場合、又は、物損公衆災害(工事作業が起因して第三者の資産に損害を与えた事故)例)架線の断線、上下水道等の公共施設の破損等)</td> <td style="text-align: center;">- 3点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 9. その他の適応事例</td> <td style="text-align: center;">- □点</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">※当該工事現場に対する法令遵守のみの評価とする。(他工事現場での違反は評価しない。) ※完成検査当日までの処分内容で評価する。(完成検査日以降に処分が出たものは評価しない。)</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold; font-size: large;">点</p> <p>① 本評価項目(7. 法令遵守等)で評価する事例は、「工事の施工にあたり、工事関係者が下記の適応事例で上表の措置があった場合に適用する。 ② 「工事の施工にあたり」とは、請負契約書の記載内容(工事名、工期、施工場所等)を履行することに限定する。 ③ 「工事関係者」とは、②を履行する工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の現場従事職員及び②を履行するために下請契約し、その履行をするために従事するものに限定する。</p> <p>【上記で評価する場合の適応事例】 ※適応事例にレ点をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1. 入札前に提出した調査資料等が虚偽であった事実が判明した。 <input type="checkbox"/> 2. 承諾なしに権利義務等第三者譲渡又は承継を行った。 <input type="checkbox"/> 3. 労働者の宿舍環境等について労働安全基準法上違反があり、送検等された。 <input type="checkbox"/> 4. 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した。 <input type="checkbox"/> 5. 当該工事関係者が贈収賄等により逮捕または告訴された。 <input type="checkbox"/> 6. 建設業法に違反する事実が判明した EX)一括下請け、技術者の専任違反等 <input type="checkbox"/> 7. 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検等された。 <input type="checkbox"/> 8. 使用人等の就労に関する労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。 <input type="checkbox"/> 9. 監督または検査の実施にあたり、職務の執行を妨げた。あるいは不当な政治力等の圧力をかけ、妨害した。 <input type="checkbox"/> 10. 下請代金遅延防止法第4条に規定する下請代金の支払いを期日以内に行っていない。あるいは不当に下請代金の額を減じている。あるいはそれに類する行為がある。 <input type="checkbox"/> 11. 過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検等された。 <input type="checkbox"/> 12. 受注企業の社員に「指定暴力団」あるいは「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等、暴力団関係者がいることが判明した。 <input type="checkbox"/> 13. 下請けに暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは暴力団対策法第9条に記載されている、砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、土木作業員やガードマンの受け入れ、作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。 <input type="checkbox"/> 14. 安全管理の措置が不適切であったために、死傷者を生じさせた工事関係者事故、または重大な損害を与えた公衆災害を起こした。 <input type="checkbox"/> 15. 引渡し後に事故等が発生し、受注者の責による重大な瑕疵が判明した。 <input type="checkbox"/> 16. 低入札調査で虚偽の報告があった。 <input type="checkbox"/> 17. その他(理由:) 	措置内容	点数	<input type="checkbox"/> 1. 項目該当なし	-0点	<input type="checkbox"/> 2. 指名停止3ヶ月以上	-20点	<input type="checkbox"/> 3. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満	-15点	<input type="checkbox"/> 4. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満	-13点	<input type="checkbox"/> 5. 指名停止2週間以上1ヶ月未満	-10点	<input type="checkbox"/> 6. 文書注意	- 8点	<input type="checkbox"/> 7. 口頭注意	- 5点	8. 現場内で、労働災害が発生した場合		<input type="checkbox"/> 労働災害の事案が複数回発生しており、労働基準監督署から複数回「是正勧告書」や「指導票」が交付された場合	- 8点	<input type="checkbox"/> 労働基準監督署から、「是正勧告書」が交付された場合	- 5点	<input type="checkbox"/> 労働災害が軽微であるため口頭注意以上の処分が無かった場合、休業4日以上の労働災害が発生した場合、休業4日未満であっても、労働基準監督署から、「指導票」が交付された場合、又は、物損公衆災害(工事作業が起因して第三者の資産に損害を与えた事故)例)架線の断線、上下水道等の公共施設の破損等)	- 3点	<input type="checkbox"/> 9. その他の適応事例	- □点
措置内容	点数																										
<input type="checkbox"/> 1. 項目該当なし	-0点																										
<input type="checkbox"/> 2. 指名停止3ヶ月以上	-20点																										
<input type="checkbox"/> 3. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満	-15点																										
<input type="checkbox"/> 4. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満	-13点																										
<input type="checkbox"/> 5. 指名停止2週間以上1ヶ月未満	-10点																										
<input type="checkbox"/> 6. 文書注意	- 8点																										
<input type="checkbox"/> 7. 口頭注意	- 5点																										
8. 現場内で、労働災害が発生した場合																											
<input type="checkbox"/> 労働災害の事案が複数回発生しており、労働基準監督署から複数回「是正勧告書」や「指導票」が交付された場合	- 8点																										
<input type="checkbox"/> 労働基準監督署から、「是正勧告書」が交付された場合	- 5点																										
<input type="checkbox"/> 労働災害が軽微であるため口頭注意以上の処分が無かった場合、休業4日以上の労働災害が発生した場合、休業4日未満であっても、労働基準監督署から、「指導票」が交付された場合、又は、物損公衆災害(工事作業が起因して第三者の資産に損害を与えた事故)例)架線の断線、上下水道等の公共施設の破損等)	- 3点																										
<input type="checkbox"/> 9. その他の適応事例	- □点																										

工事成績採点の審査項目別運用表（土木工事）

監督員上

評定別紙2-1

審査項目	細別	工事特性キーワード一覧表	【事例】具体的な評価技術力項目及び工事事例
4. 工事特性	1. 施工条件への対応 キーワード評価 ●土木、建築工事 共通	<p>●施工規模の大きさへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1. 対象構造物の高さ、延長、施工（断）面積、施工深度等の規模 <input type="checkbox"/> 2. その他（該当があればチェックして理由を記入。） <p>理由：</p> <p>●構造物固有の難しさへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 3. 対象構造物の形状の複雑さ（土被り厚やトンネル線形等を含む） <input type="checkbox"/> 4. 既設構造物の補強、撤去等特殊な工事 <input type="checkbox"/> 5. その他 <p>理由：</p> <p>●技術固有の難しさへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 6. 工種及び工法の特異性 <input type="checkbox"/> 7. 新工法（機器類を含む）及び新材料の適用 <input type="checkbox"/> 8. N E T I S の評価試行方式を適用 <input type="checkbox"/> 9. その他 <p>理由：</p> <p>●厳しい自然・地盤条件への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 10. 湧水の発生、地下水の影響（地盤掘削時） <input type="checkbox"/> 11. 軟弱地盤、支持地盤の状況 <input type="checkbox"/> 12. 河川内・海域・急峻な地盤条件下等及び工事用道路・作業スペース等の制約 <input type="checkbox"/> 13. 雨・雪・風・気温・波浪等の影響 <input type="checkbox"/> 14. 地すべり等の地質条件、急流河川での水流、海域での潮流等の影響、動植物等に対する配慮等 <input type="checkbox"/> 15. その他 <p>理由：</p> <p>●厳しい周辺環境等、社会条件への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 16. 地中埋設物等の地中内の作業障害物 <input type="checkbox"/> 17. 工事の影響に配慮すべき鉄道営業線・供用中の道路・架空線・建築物等の近接物 <input type="checkbox"/> 18. 周辺住民等に対する騒音・振動の配慮 <input type="checkbox"/> 19. 周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮 <input type="checkbox"/> 20. 生活道路を利用している機械搬入等の工事用道路の制約、路面覆工下・高架下等の作業スペース制約 <input type="checkbox"/> 21. 現道上で、特に交通規制及びその処理が伴う作業 <input type="checkbox"/> 22. 騒音・振動・水質汚濁以外の環境対策、廃棄物処理等 <input type="checkbox"/> 23. その他 <p>理由：</p> <p>●施工現場での対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 24. 災害等での臨機処置（該当があればチェック。） <input type="checkbox"/> 25. 施工状況（条件）の変化に対応した施工・工法等の自発的提案と対応等 <input type="checkbox"/> 26. その他 <p>理由：</p> <p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 27. その他、施工及び工法等の優れた技術力及び能力として、評価する必要がある事項 <input type="checkbox"/> 28. その他（加点が1点の場合） <p>理由：</p>	<p>【事例】具体的な評価技術力項目及び工事事例</p> <p>【施工規模が大規模】下記の該当する項目が、高度技術で評価できる場合（該当項目をチェック）</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 切土・盛土工 2.0万m³以上 <input type="checkbox"/> ダム用水門 設計水深25m以上 <input type="checkbox"/> 堰、水門 最大径間長25m以上又は径間数3径間以上又は50m²/門 <input type="checkbox"/> トンネル(NATM) 内空断面積 100m²以上 <input type="checkbox"/> 大空間のホール等を有する建物、研究所等特殊設備・機能の有る建物 <input type="checkbox"/> 浚渫工 100万m³以上 <input type="checkbox"/> ダム高 150m以上 <input type="checkbox"/> 橋梁上部工 最大支間長 100m以上 <input type="checkbox"/> 護岸・築堤高 10m以上 <input type="checkbox"/> 樋門・樋管 内空断面積15m²以上 <input type="checkbox"/> トンネル(沈埋工法) 内空間平均面積300m²以上 <input type="checkbox"/> トンネル(シールド) 直径8m以上 <input type="checkbox"/> 揚排水機場 吐出管径2,000mm以上 <input type="checkbox"/> トンネル(開削工法) 開削深さ20m以上 <input type="checkbox"/> 地滑り防止工 幅100m以上 又は法長150m以上 <input type="checkbox"/> 砂防ダム 堤高15m以上 <input type="checkbox"/> 橋梁下部工 高さ 30m以上 <input type="checkbox"/> 地上9階以上の建物、又は建築高さ31m以上の建物 <p>【事例：構造物固有の施工難度と対応工法等】（該当項目をチェック）</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 地山強度が低い、また土被りが薄いため、FEM解析等の施工のための検討が必要な工事。 <input type="checkbox"/> 砂防工事等で現地調査に基づき、現地合わせの再設計と施工が必要な工事。 <input type="checkbox"/> 鉄道営業線に隣接した橋脚の耐震補強工事や河道内の流水部における橋脚撤去工事。 <input type="checkbox"/> 供用中の施設の改修工事等。 <input type="checkbox"/> 建築工事で官庁施設の総合耐震計画基準においてI類及びA類に属する工事 <input type="checkbox"/> 電気設備工事で官庁施設の総合耐震計画基準において甲類に属する工事 <input type="checkbox"/> 機械設備工事で官庁施設の総合耐震計画基準において甲類に属する工事 <input type="checkbox"/> 建築工事で耐震及び免震構造の工事 <input type="checkbox"/> 建築及び設備工事で敷地内又は周辺部の工作物、配管・配線等の大規模な移設、切り直しを行った工事 <input type="checkbox"/> 建築及び設備工事で仮設備等を設け、配管・配線の盛替え等を必要とする改修工事 <input type="checkbox"/> 建築及び設備工事で休日・夜間作業が工程の60%以上を占める改修工事 <input type="checkbox"/> 施工場所や構造物の特異性に対処するための新技術、新工法を採用した工事。 <input type="checkbox"/> パイロット工事、又は特異な試験フィールド工事で特許工法等の技術的に検討が必要な工事。 <input type="checkbox"/> その他、モニター・シミュレーション等が必要な設計や特殊な工法及び材料等を用いた工事。等 <input type="checkbox"/> VE提案された工法等が高度技術として評価できる場合。 <input type="checkbox"/> N E T I S の評価試行方式を適用した工事 <input type="checkbox"/> その他、構造物固有の難しさへの対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事。 <p>（左欄のその他に理由を記入。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> その他、技術固有の難しさへの対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事。 <p>（左欄のその他に理由を記入。）</p> <p>【事例：自然及び地盤条件への対応工事等】（該当項目をチェック）</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 河川内の橋脚工事等で、地下水位が高く、ウェルポイント等の排水設備の他、大規模な山留め工法が必要な工事。 <input type="checkbox"/> 支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎の1本毎に地質調査を実施する他、支持地盤を確認しながら再設計した工事。 <input type="checkbox"/> 軟弱地盤上の緩速盛土のため、施工不可能日（待ち時間）が多く、施工機械の稼働率と施工台数等を的確に把握した工事。 <input type="checkbox"/> 急峻な地形のため、作業橋台や作業床の設置が制限される工事。または命綱を使用する必要があった工事。（法面工は除く） <input type="checkbox"/> 斜面に若しくは急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策施工後に、施工した工事。 <input type="checkbox"/> 海岸及び河川内のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事。 <input type="checkbox"/> 波浪や水位変動が大きいため、作業橋台等を設置した工事。また、作業橋台等の設置や作業工程から潜水夫を多用した工事。 <input type="checkbox"/> 国立公園内での工事。またはイスラフ等の貴重種の保護のため、施工時期が限定されたり、施工方法等が制限された工事。 <input type="checkbox"/> 冬期施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事。 <input type="checkbox"/> 建築工事で地下水位が高く、ウェルポイント等の排水設備の他、大規模な山留め工法が必要な工事。 <input type="checkbox"/> 建築工事で冬期施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事。 <input type="checkbox"/> 建築工事で施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事。 <input type="checkbox"/> その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事。 <p>（左欄のその他に理由を記入。）</p> <p>【事例：周辺環境や社会条件等の施工現場での対応が必要になった工事等】（該当項目をチェック）</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 横断函渠工事や電線地中化工事等の現道開削工事で、ガス管・水道管・電話線等の移設が施工工程に大きく影響した工事。 <input type="checkbox"/> 鉄道営業線及び供用中道路を跨ぎ跨線橋又は跨道橋工事。 <input type="checkbox"/> 市街地等の家庭密集地での、鉄道又は道路をアンダーパスする工事。 <input type="checkbox"/> 市街地での夜間工事。 <input type="checkbox"/> 供用中の道路で片側交互通行の交通規制をした工事。 <input type="checkbox"/> 供用中の道路での舗装及び修繕工事等。 <input type="checkbox"/> 供用している自車道等の路上工事で交通規制が必要な工事。 <input type="checkbox"/> 支障物件の移設が工程上クリティカルパスになり、工程の遅れを生じ、回復に機械、人員等の増強を行った工事。 <input type="checkbox"/> 工事期間中の大半にわたって、規制標識類の設置・撤去を日々行い、交通開放を行った工事。 <input type="checkbox"/> 地元調整や環境対策の制約が多い工事。 <input type="checkbox"/> 工事の実施にあたり、各種の制約があり、工程的にも特に厳しく、施工の制限を受けた工事。 <input type="checkbox"/> 工事に先立ち又は施工中で、監視・観測等の結果に基づき、工法変更を行った工事。 <input type="checkbox"/> 環境対策が工程に大きな影響を与えた工事。 <input type="checkbox"/> 施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事。 <input type="checkbox"/> 大気圧を越える気圧下の作業室での工事。 <input type="checkbox"/> 酸欠、有毒・可燃性ガス等の対策が必要な工事。 <input type="checkbox"/> 工程上、他工事の制約を受け、機械、人員の増強を行った工事。 <input type="checkbox"/> 建築工事で大規模なテレビ電波障害対策を行った工事 <input type="checkbox"/> その他、周辺環境又は社会条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事。（左欄のその他に理由を記入。） <input type="checkbox"/> 建築工事で特に困難な調整を要する他工事（近接工事）の請負者が複数ある工事（左欄のその他に理由を記入。） <input type="checkbox"/> 建築工事で外来者の多い施設で、作業範囲内外来者・通行人等の動線がある工事（左欄のその他に理由を記入。） <input type="checkbox"/> その他、施工現場での対応で、特に評価すべき技術があると評価された工事。（左欄のその他に理由を記入。） <p>【その他】（該当項目をチェック）</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> その他、施工及び工法等の優れた技術力及び能力として、評価する技術。 <p>（左欄のその他に理由を記入。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> その他（加点が1点の場合）
	記述評価 【■マークを付したキーワード項目について、評価内容を詳細記述】	<p>採点： 点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事特性により、加点評価する ・ 加点は+2.0点～0点の範囲とする。 ・ 該当キーワードの数と重みを勘案して採点する。 ・ 1項目2点を目安とするが、内容によってはそれ以上または以下の点数を与えてもよい。 	【施工条件のキーワードの詳細】

※1. 工事特性とは、工事全体を通して他の類似工事に比べて、特異な技術力を要する必要がある技術で評価するものである。なお、評価は「5. 創意工夫」との二重評価はしない。
 ※2. 詳細評価の記述にあたっては、担当課内の責任者による合議とし、各審査項目はキーワードで大分類し、評価する詳細を記述する。
 ※3. 工事特性は「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本当に些細な工夫ではあるが非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルがあるが、本項目では「5. 創意工夫」で評価しなかったものを対象とする。